

国 語

「現代文」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 2 ものの見方, 感じ方, 考え方を深める。 3 進んで表現することによって人生を豊かにする態度を育てる。 4 進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『032 高等学校現代文 改訂版』(三省堂) (第2学年では第1部を扱います)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲	
第 1 学 期	*課題テスト		4		春休みの課題の中からテストを実施。	第 1 学 期 中 間 考 査	
	一 随想 「市民」のイメージ	3		・「市民」であることを、受動的ではなく、「市民」に成る、と能動的に考えることの必要性について、叙述を追いながら検証していく。	プリント使用。		
	カフェの開店準備	2		・カフェの開店準備が人生の時間とどういう類似点を持っているか、整理して考えをまとめる。			
	二 小説(一) 山月記	6	5	・虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との対話を通して凝視され、開かれていった主人公の心の姿をとらえる。			
	ひよこの眼	5		・「私」の幹生に対する思いがどのように変化していったかを確認し、他者との関係性について考えを深める。			
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。			
	三 評論(一) ミロのヴィーナス	3	6	・詩的でアイロニカルな文章展開の妙を味わい、芸術作品を通して人間という存在のありようを追求する論旨を読み解く。			相互評価 インターネットや図書館の利用
	ホンモノのおカネの作り方	5		・「貨幣」というものの本質について、論旨を追いながら読み取っていく。			
	身体像の近代化	5	7	・筆者の<身体>という視点からとらえた、日本近代の歩みを理解し、身体の「文化的」「社会的」側面に気づく。			
	●解説文 中身当てクイズ	2		・「情報がない、という情報」という逆説的な論理を学び、情報を分析する能力を高める。			
*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・実用文の表現上の特色(文体や語彙など)をとらえる。				
			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。				
【課題・提出物等】 ① 春休みの課題 ② 授業で使ったプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文							

④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート
【第1学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第2学期	*課題テスト 四 詩歌 今日 1 パンの話 1 ねずみ 1 現代の短歌－短歌十二首 3 五 評論(二) 現実と仮想 3 動物のことば・人間のことば 3 ●情報の読み方・扱い方 3 *基本テスト (週1回程度・1回5分) 3	9	夏休みの課題の中からテストを実施。 ・詩の表現やリズムの特徴の違いなど、その表現効果について考えを深める。 ・作者の個人的な感性を理解する。 ・定型詩の面白さと可能性に気づく。 ・現実と仮想とを区別することの重要性を理解する。 ・仮想が立ち上がりそれがしだいに分化していく。その過程の中で、一つの達成として言語の獲得があると考えられることを理解する。 ・「自己の中に発達させた仮想の数だけ、現実を豊かに把握することができる」ことを理解する。 ・動物と人間のことばの境界を画定することの意味を考える。 ・ヤカンとインコと子どもの同じ「ピー」も、「異なったレベルの事例」だと筆者が分析していることを理解する。 ・「教えられた者」が同時に「教える者」となることの重要な意味を理解する。 ・「約束する者」と「約束される者」という二重の観点を同時に生きる、ということを理解する。 ・統計資料の読み取りを学習しそれに対する自分の考えをわかりやすくまとめる。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	第2学期 中間考査
	六 小説(二) ころも 6 レキシントンの幽霊 6 *基本テスト (週1回程度・1回5分) 6	11 12	・近代を代表する小説を読むことを通じて、小説の読みのダイナミズムのおもしろさを学び、人間についての洞察を深め、自己の人生を考える端緒とする。 ・現代を代表する作家の小説を読み、小説を楽しむ。 ・語り手である「ぼく」がこの物語を語る理由を、作品の構造と関連させてとらえる。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 夏休みの課題 ② 授業で使ったプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート					
【第2学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。					

第 3 学 期	*課題テスト		1		冬休みの課題の中からテストを実施。	第 3 学 期 期 末 考 査
	七 評論(三) 世代間倫理としての環境倫理学	6		・筆者の主張する「世代間倫理」の考えを理解し、私たちが未来世代に対して何をすべきかを考える。	教室で意見交換をし、問題意識を深める。 相互評価	
	「である」ことと「する」こと	6	2 3	・「である」価値と「する」価値とがどういうものであるかを理解し、私たちはどのように対処していけばよいのか、考えを深める。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。		
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 冬休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート						
【第3学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。						

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにする。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにすること。 ・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するようにすること。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をすること。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出すること。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めること。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・分からないことや興味あることについて進んで調べようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
<p>話す・聞く能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
<p>書く能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
<p>知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な漢字が書けるか。 ・現代社会における言語表現の役割や文化などについて理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・基本テスト ・授業ノート ・提出された課題

国 語

「現代文」	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 2 ものの見方, 感じ方, 考え方を深める。 3 進んで表現することによって人生を豊かにする態度を育てる。 4 進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『032 高等学校現代文 改訂版』(三省堂) (第3学年では第2部を扱います)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	*課題テスト		4		春休みの課題の中からテストを実施。	第 1 学 期 中 間 考 査
	一 評論 (一)					
	聴くということ	3			・「聴く」という行為が選択的行為であり、ケアの場でも大きな力を持ちうるのはなぜなのか理解する。	
	判断停止の快感	3			・なぜ「清潔願望」が「判断停止の快感」につながっていくのか、筆者の論点を整理し、自分自身の経験と照合して現代社会の見方を深める。	
					・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。	
	批評のまなざし①					
	ニートについて	1	5		・ニートについての知識を読み取り、それに対する自分の考えを小論文にまとめる。	
	二 小説 (一)					
	鞆	3			・鞆に対する「私」の考え方の変化を整理し、この小説の投げかけている問題を考え、小説における虚構と現実について学ぶ。	
	藤野先生					
			6		・医専留学時代の「藤野先生」や同級生たちとの交流を通じて「私」の心の変化を読み取り、「先生」に学んだものが何か、考える。	
*基本テスト (週1回程度・1回5分)					・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。
三 評論 (二)						第 1 学 期 期 末 考 査
南の貧困／北の貧困	6	6		・筆者の言う「貧困」の定義を明らかにし、「南」と「北」のそれぞれの社会に共通する「二重の疎外」という概念の意味するところを読み取る。		
ある〈共生〉の経験から	5	7		・抑留の中で、生存のために強いられた〈共生〉のありかたと、そこから得た筆者の認識を考察する。		
				・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。		
批評のまなざし②						
グローバリズムの逆説	2				・グローバリゼーションのパラドックスについて理解し、自分の考えを小論文にまとめる。	
*基本テスト (週1回程度・1回5分)					・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。

<p>【課題・提出物等】</p> <p>① 春休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート</p>
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。</p>

第2学期	<p>四 詩歌</p> <p>のちのおもひに 1 死んだ男 1 小諸なる古城のほとり 1 現代の俳句一俳句十二句 3</p>	9	<p>・詩や短歌に描かれた世界を読み味わい、独自の表現の魅力を学ぶ。 ・作者の個性的な感性を理解する。 ・「切れ字」などの修辞を学び、各句に表現されている情景や感動について考える。</p>	第2学期中間考査
	<p>五 評論(三)</p> <p>場所と経験 4 虚ろなまなざし 4 批評のまなざし③ カタカナ語は享受すべきか 1</p> <p>*基本テスト (週1回程度・1回5分)</p>	10	<p>・文章中の「三つの空間」のそれぞれの特色と違いを整理し、それと関連させて私たちが真に「知る」とはどうか、考える。 ・難民の少女の写真から「同一化」「主体化」について理解し、歴史的な転換点に立っている現在のメディアと人類の方向性、人間の心の奥に潜むヒューマニズムを考える。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。 ・カタカナ語の増殖についての筆者の意見を理解し、自分の見解を小論文にまとめる。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。</p> <p>プリント使用。</p>	
第2学期	<p>六 小説(二)</p> <p>舞姫 7 リンデンバウム通りの双子 6</p> <p>*基本テスト (週1回程度・1回5分)</p>	11	<p>・この作品が「手記」の形式を取っていることを念頭に置き、過去のできごとの再形象化・意味付けのプロセスであることを前提に、過去の叙述を丁寧に読み解いていく。 ・作品の人間関係や、背景となる時代をとらえ、登場人物(私、カールとハインツ)の思いについて理解する。 ・離れている娘へのまなざしの変化を読み取り、他者とのかかわりとは何なのか考える。 ・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。</p> <p>プリント使用。</p>	第2学期期末考査
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>① 夏休みの課題 ② 授業で使用したプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート</p> <p>【第2学期の評価方法】</p> <p>① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 評価の内訳は、提出物の評価20%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。</p>			

第 3 学 期	*課題テスト		1		冬休みの課題の中からテストを実施。	第 3 学 期 期 末 考 査
	七 評論（四） 無常ということ	6		・全文の構成を念頭に置きながら、筆者の言う「無常」と、それに対する「常なるもの」とがどのようなことなのか考える。		
	現代日本の開化	6	2	・漱石の言う「外発的開化」と「内発的開化」の内容をよく吟味し、現代の日本の状況と重ね合わせて批評精神をもって読み解いていく。 ・文体やレトリックなどの表現の特色をとらえ、豊かな言語表現の世界に迫る。		
	批評のまなざし④ 「私」消え、止まらぬ連鎖	1		・消費者のおかれている状況についての、筆者の解釈を理解し、現代の消費社会について自分の見解を小論文にまとめる。		
	*基本テスト (週1回程度・1回5分)			・常用漢字の読み書きに習熟し、豊かな語彙を獲得する。	プリント使用。	
【課題・提出物等】 ① 冬休みの課題 ② 授業で使ったプリントやワークシート ③ 授業で作成した意見文 ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート						
【第3学期の評価方法】 ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、基本テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、基本テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。						

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文」の授業でさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにする。また、語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにすること。 ・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するようにすること。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をすること。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出すること。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めること。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・分からないことや興味あることについて進んで調べようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告などの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について吟味したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の表現の特色について理解を深めているか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な漢字が書けるか。 ・現代社会における言語表現の役割や文化などについて理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・基本テスト ・授業ノート ・提出された課題

3 担当者からのメッセージ

「現代文」では、随想、評論、小説、詩歌など、近代以降のさまざまな文章を扱います。これらの文章を学ぶことを通して、広い視野から人間理解を深め、国際協調の精神を育て、生き生きとした言語活動を営むことのできる国語の力を身につけることを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することを心がけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的にことばにかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。